

特集 「同一労働同一賃金」は、派遣スタッフに

「同一労働同一賃金」への派遣スタッフの「期待」と

どのように映っているのか？

「賃金」への「不安」、そして「不信」

2000人の派遣スタッフを対象に本誌独自アンケート調査

「期待」派

「不安」派

「不信」派

「交通費が家計の大きな負担になっていたのが、解消されて嬉しい」(30歳女性・神奈川)

「同じ仕事で同じ給与が得られればモチベーションが上がる」(49歳女性・福岡)

「仕事ができないとみなされた場合、正社員から恨みを買いたいから」(38歳女性・兵庫)

「今まで気楽に働いていたのに、賃金が上がることにより、仕事を押し付けられるかもしれないから嫌だ」(53歳女性・埼玉)

「社内の人間関係が悪くなり、結果的に長期労働にならない」(37歳女性・北海道)

「派遣先が派遣を使うメリットが少なくなる。仕事に就ける機会が減る」(44歳女性・神奈川)

「社員だからという観念や圧力が嫌で、正社員以外を希望しているから」(49歳女性・宮崎)

「そもそも派遣が嫌になったら契約更新時に辞めればいいが、同一賃金なら責任も生まれ、辞めにくくなる」(52歳男性・大阪)

「正社員は特権でもあるので、それを変えることはできないから」(35歳男性・福岡)

- Q1 同一労働同一賃金について、あなたはどの程度知っていますか？
- Q2 派遣スタッフとして同一労働同一賃金で働くイメージとは？
- Q3 派遣スタッフとして、同一労働同一賃金で働くことについての「今の気持ち」は？
- Q4 同一労働同一賃金は、派遣で働く人にとってプラスと思うか？ それともマイナスと思うか？
- Q5 「同一労働同一賃金はうまくいかない」と思う理由は何か？
- Q6 「有期・無期」別で見た同一労働同一賃金の意識差
- Q7 同一労働同一賃金で最も期待したいことは何か？
- Q8 性年代別に見た同一労働同一賃金の「受け止め方の違い」

今年4月1日に施行された改正派遣法による「同一労働同一賃金」。本誌ではその約半月前の2020年3月12日から16日の5日間、2000人の派遣スタッフに対して「同一労働同一賃金」に関する意識調査を実施した。同調査は2019年9月、そして同年4月にも実施しており、本特集では約半年前、さらに約1年前の調査時との派遣スタッフの同一労働同一賃金に対する意識変化などにも着目し、検証した。本特集では同一労働同一賃金に対する派遣スタッフの気持ちを「期待」と「不安」、そして実は最も多かった「不信」の3つに分類し、その「理由」はどこにあるのかを探るべく、回答者一人ひとりのコメントも分析。派遣スタッフにとっては本来ポジティブな制度であるはずの同一労働同一賃金がなぜ、派遣スタッフの間で「不安」や「不信」を招いているのか？ 施行から2ヶ月が経過した今、あらためて“施行直前時”における派遣スタッフの本音を耳を傾けてみたい。

(伊藤秀範)